

自由登校化に向けて 保護者説明会 補足資料

自由登校のメリット・デメリットについて

<自由登校のメリット>

登校の形態が選べる

自分が（わが子が）安全に登校するための方法が選べる

兄弟姉妹と 友達と 保護者と 一人で グループで（既存 G 活用・新グループ）
通学班にしばられずに登校することができる

集団にしばられない 欠席の報告 集合場所・集合時間がなくなる（最短ルート）
人間的な軋轢がなくなる

登校中や集合場所でのトラブルは大きく減る

緊張感の高い子は集団登校によるプレッシャーから解放される

通学班長・副班長になる子どもが保護者の責任を代行する必要性がなくなる

登校のルートが選べる

通学路に至るまでのルートが選べる

最短ルートを選べる 各家庭の最も安全なルートを検討できる

<自由登校のデメリット>

集団で登校しなくなることで、交通安全面の心配が個人につく

一人ぼっちになる可能性の高まりによる不審者等の心配が個人につく

↓↓

自由登校のデメリットへの対応

交通安全、不審者対応の両面から、保護者とともに「形態」「ルート」を考えてもらう
危険の可能性のある場所について「登下校安全教室」（PTA 主催）で周知を図る

「登下校安全教室」でつくられた「安全マップ」を基にした指導を図る

地域との連携

現在の連携 町内会への回覧、交通安全対策協議会への働きかけによる周知

今後の連携 学校から地域への投げかけ方の工夫

町内会の回覧板等による発信を行い、学校の考えが浸透するようにする

警察や「こども 110 番」へのお知らせを行い、連携を図る

登校時に心配な出来事が起こった場合に向けて

学校における指導の徹底 児童同士助け合う

周囲の大人に助けを求める

こども 110 番の場所の確認

保護者の声に常に耳を傾け、本格実施までにできる限りの不安を取り除けるようにする